

## 4 安全継手の点検

万が一、給油口にノズルを差し込んだまま車両が発車した時は、安全継手が分離して計量機の転倒を防止します。分割した安全継手は、内部のボール弁によって油を遮断し、吹き出しを防止します。

### 点検方法と項目

カバーを下げて目視で確認してください。

- ① 油のにじみやしみはありませんか？
- ② 接合部に異常な隙間はありませんか？
- ③ サビの発生はありませんか？
- ④ 回転が異常に固いことはありませんか？
- ⑤ 車両が誤発進する事故が起きていませんか？  
※事故があった場合は抜けなくても交換してください。

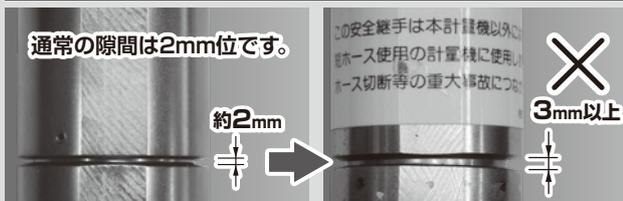
### 目視による交換の目安

#### ① 油のにじみ



※カバーが外れないタイプの場合は、カバー周囲(下部)のにじみを確認してください。

#### ② 接合部の異常な隙間



#### ③ サビの発生

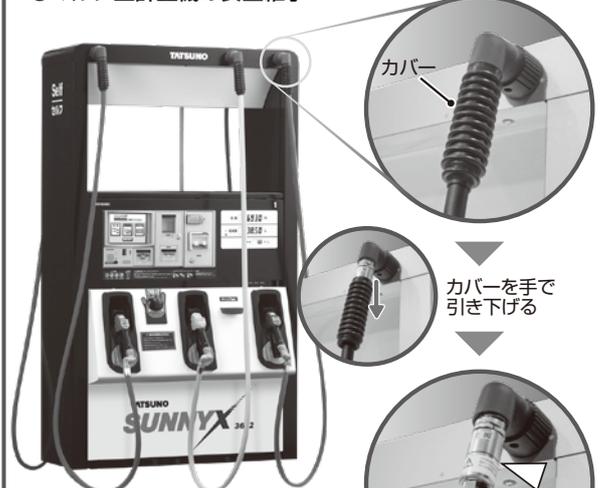


#### ⑤ 回転が異常に固い

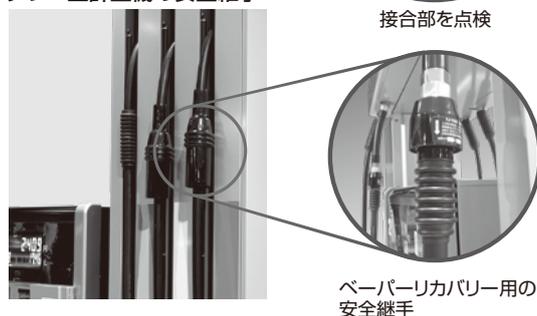


### 安全継手のカバー

#### ●マルチ型計量機の安全継手



#### ●タワー型計量機の安全継手



※カバーの交換目安として、亀裂・破損・変形・固着がある場合は交換をお奨めします。

### 使用年数による交換

安全継手は消耗品です。

油のにじみ、隙間が3mm以上、サビの発生がなくても、使用開始から3年経過を目安に、ホースと共に交換をお奨めします。